

# より効率的で安定した木材の供給を目指して



造材作業をする高性能林業機械「プロセッサ」(佐久市 片倉団地)

## 高性能林業機械の導入進む

高性能林業機械は、従来のチェーンソーや集材機械よりも格段に効率よく安全に作業ができる機械です。例えば造材作業（伐倒木の枝払い、玉切等）を行うプロセッサは、チェーンソーで行う場合のおよそ10倍以上の伐倒木を捌いて丸太にすることができ、高性能林業機械を導入し十分に活用することは、木材の安定供給のための必須条件です。

高性能林業機械が山の中に入って作業を行うには、林内路網の整備も重要です。森林組合や各事業体では、山の地形条件や森林所有者の意向を考慮した高性能林業機械の組合せ（これを「作業システム」といいます。）がうまく機能するように路網配置を検討し、整備しています。

課題もあります。それは高性能林業機械の稼働率を上げることです。「森林の集約化」を進めて間伐の作業区域を拡げることが、結果的に稼働率を上げることになります。

森林組合や各事業体は、①高性能林業機械を導入・活用し、②搬出間伐を継続するための条件を一つひとつクリアするよう日々取り組んでいます。これらの努力の積み重ねにより、安い材価で間伐材の売上げが伸びない中にあっても、①木材の生産・供給コストの引下げが可能になることで②森林所有者の皆様の負担が軽減され、③地域の山が良くなってゆきます。